

製品ライフサイクルでの環境負荷削減を目指し、お客様とともに進める活動を実践しています。

■考え方

リコーグループは、自社の事業活動による環境負荷だけでなく、リコー製品の使用時に発生する分についてもお客様とともに積極的に削減していかなければならないと考えています。このような考え方に基づき、リコーグループではこれまでも、消費電力や紙使用量を抑制する機能を拡充させ、製品本体の環境性能の向上に努めてきました。しかしさらに環境負荷削減効果を高めるためには、これらの機能が十分に活用されることが不可欠であると考え、製品使用時の環境負荷の見える化を通じた提案活動を展開しています。また、リコー製品の利用によるもの以外にも、リコーグループの社内で実

践しているさまざまな環境負荷削減活動をお客様にご紹介・ご提案しています。

■2010年度までの目標

◎省エネ・両面機能の活用状況の把握と利用率の向上

■2010年度のレビュー

お客様の省エネモードの活用率向上を目指し、国内では2008年度からリコーテクノシステムズを中心に、お客様先での提案活動を継続実施しています。@Remote(アットリモート)を利用した環境負荷の見える化による環境負荷削減提案活動も定着しています。海外では2009年度

からお客様への提案活動を開始しました。国内同様、@Remote等のツールを利用した環境負荷の見える化による環境負荷削減提案活動を展開しています。2010年に発売された高い省エネ性能を有する新製品機種が発売されたことで国内・海外ともにさらに活動を加速していく予定です。

■今後の取り組み

国内・海外とも引き続き省エネ機能、両面機能の活用推進展開を図っていきます。また、お客様にとってより使いやすく、環境に優しい製品・サービスの提供に向けて検討を続けていきます。

お客様の環境経営を支援する

TGOS (The Total Green Office Solution)

《リコーグループ/グローバル》

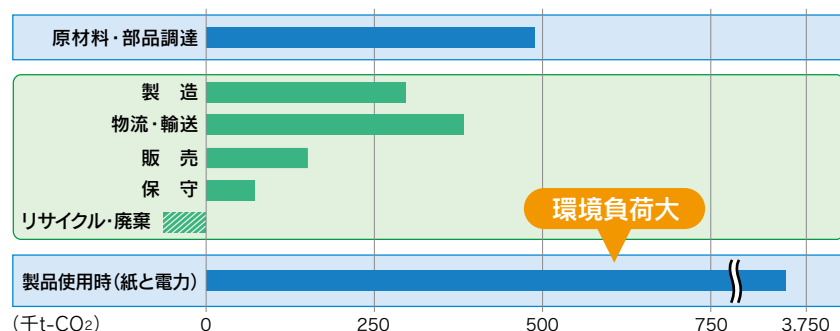
リコー製品がライフサイクルを通じて地球環境に及ぼす影響を、温暖化の面から評価すると、リコーグループの事業活動によって直接排出する温室効果ガス以上に、お客様先で製品が使われる際の電力や紙を原因とする発生量が多いことがわかっています。このため、紙の使用量を抑えるための効率アップと電力消費量を低減することが重要です。リコーグループの販売・サービス部門では、お客様への提案、商談、成約後のあらゆる段階で、自らの環境経営の社内実践を紹介し、お客様

の環境経営の実現をサポートする活動をグローバルで展開しています。TGOSとは、オフィスでご利用いただく商品およびサービスを、お客様が検討(えらぶ)、使用(つかう)、リユース・リサイクル(もどす)していただく際に、それらの活動が影響を及ぼす環境負荷を可視化・削減するとともに、ワークフロー改善・コスト削減なども同時実現していくソリューションです。

<http://www.ricoh.co.jp/tgos/top.html>

リコー製品のライフサイクルでのCO₂排出量

■ 間接的な影響範囲 ■ リコーグループの直接的な温暖化影響の範囲



お客様とともに進める

環境負荷削減活動

《リコーグループ/グローバル》

リコーグループでは、①再生機販売や、国内工場でのキットティング*などによる「環境負荷の少ない製品・サービスの提供」（お客様が「選ぶとき」）、②CO₂を見える化した提案による「リコー製品使用時の環境負荷削減」や「リコーグループ内実践活動で蓄積した環境負荷削減ノウハウの提供」（お客様が「使うとき」）、③使用済機器・容器等の回収サービスによる「資源の有効利用による環境負荷削減」（お客様が「戻すとき」）の3領域で、お客様の環境負荷削減を支援する販売活動を展開しています。

* 製品出荷時に、国内工場で個々のお客様の注文に応じたオプションを組みつけ後、製品は工場からお客様に直送されます。 [32ページ](#)

お客様の活動・ニーズに関連した環境負荷を低減する製品・サービス(TGOS*1)

| お客様の活動 | お客様のニーズ | 製品・サービスと貢献内容 |
|--------|---------------------|---|
| 選ぶとき | 環境にやさしい製品を購入したい | ・省エネ機器、再生MFP*2、バイオマストナー ・循環型エコ包装による梱包資材削減 |
| | 消費電力や紙の使用実績を一括管理したい | ・@Remoteご使用状況報告書 サービスによるCO ₂ 見える化 |
| 使うとき | 紙の使用量を減らしたい | ・両面機能/Scan to Email&Folder/ ペーパーレスFAX機による紙削減 ・デジタルオンデマンド印刷による 印刷物の在庫削減 |
| | 消費電力を減らしたい | ・省エネモードの活用 |
| 戻すとき | 使用済み製品をリサイクルしたい | ・トナーボトル/インクカートリッジの 回収 ・使用済み機器の回収 |

*1 The Total Green Office Solution [51ページ](#) *2 マルチファンクションプリンター

プリント環境のCO₂を相殺する

サステナビリティ・オプティマイゼーション・プログラム

《リコーヨーロッパ/ヨーロッパ》

欧州極の販売統括会社リコーヨーロッパ (RE) では、TGOSのコンセプトに基づき、お客様のプリント環境にかかる環境負荷と総所有コストを可視化し、リコーのサービス導入後の効果をモニタリングしながら継続的な改善のお手伝いする、サステナビリティ・オプティマイゼーション・プログラム (SOP) を展開しています。REがSOPを積極的に展開してきた背景には、近年の企業経営者の関心事が地球環境とビジネスの持続可能性の両立へと重心が移ってきたことがあります。グローバルな企業競争が激しさを増す中、企業は、さらなる経営の効率化が求められているその一方で、環境に対する関心の高まりから、ビジネス活動に伴う環境負荷の削減も求められています。SOPのプロセスは、まず、お客様のプリント環境を詳しく分析しコストと環境負荷を可視化します。次に最適な機器配置をご提案するとともに、環境負荷削減目標設定のお手伝いをします。導入後は、お客様一人ひとりの環境意識を高める活動へのご協力や、省エネモードや両面印刷などを最大限活用いただくためのトレーニングの実施を通じて、お客様の意識・行動の改革のお手伝いをします。さらに目標値と実績の差異をモニタリングしながら、継続的な改善のための運用・管理を行います。最後にお客様の環境負荷削減にさらに貢献する新

しい提案として「カーボン・バランスド・プリンティング」を提供しています。これは、お客様がSOPにより環境負荷削減を図った上で、削減しきれずに残ったCO₂をリコーが提供する排出権クレジット*1を活用して相殺するプログラムです。ここで算出されるCO₂は、消費電力、紙などのお客様のオフィスのプリントに関する環境負荷です。このプログラムの利用により、お客様は少ない費用負担で、環境目標の達成とそれによる社会的責任への貢献が可能になります。すでに、いくつかの大手企業のお客様に導入いただき、「企業のマネジメントの最適化とサステナビリティを実現する優れたプログラムである」、「このプログラムは環境目標達成の支援となる」など、高い評価を受けています。この一連のプログラムは、英国の認証審査会社BSI*2によって認証を受けており、プログラムの実効性について確認されています。また、REのこれら取り組みは、欧州版「経営品質賞」を主宰するEFQM*3の2011年「EFQM Sustainability Good Practice Competition」で、全21事例の中から最優秀賞に選ばれています。*4 REでは、今後、SOPをより多くのお客様にご活用いただくため、プロセスのさらなる最適化を図り、お客様の業態に合わせた積極的な提案活動を行っていきます。

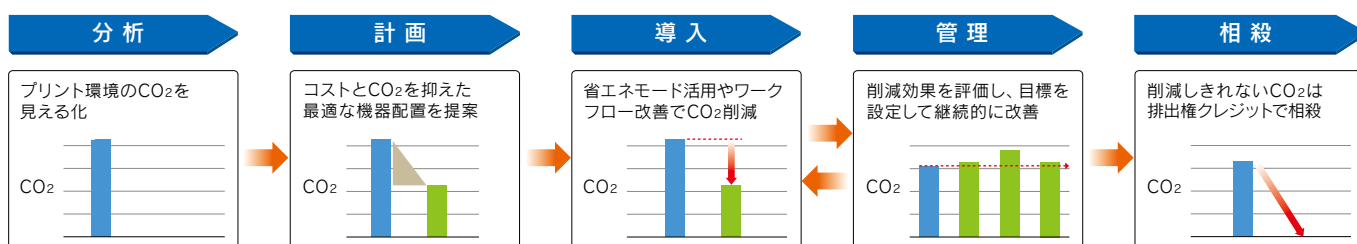
*1 クリーン開発メカニズム (CDM) によって、国連から正式に承認されて取得した排出権クレジット。 [42ページ](#)

*2 British Standard Institution

*3 European Foundation for Quality Management

*4 <https://sites.google.com/site/efqmgoodpracticecompetition/>

サステナビリティ・オプティマイゼーション・プログラムのプロセス



**COP10で
マネージド・ドキュメント・サービスを提供**
《リコー/日本》

リコーは、2010年10月に名古屋で開催されたCOP10(「COP10:生物多様性条約第10回締約国会議」および「COP-MOP5:カルタヘナ議定書第5回締約国会議」)において、会期中のドキュメントの出力運用管理業務を受託しました。受託にあたっては、グローバルに展開するリコーのマネージド・ドキュメント・サービス(MDS)*のサービス品質に加え、(1)「環境経営」を掲げ、積極的な環境負荷削減活動に取り組む一方、地球の再生能力向上のため早くから生物多様性保全活動を推進していること、(2)製品の環境性能向上のみならず、ライフサイクルのあらゆるステージで環境負荷削減に取り組んでいることなど、グループの企業姿勢が高く評価されました。今回提供した機器は、省エネ技術搭載のデジタル複合機やプリンターなど計114台で、リコーおよびリコージャパン、リコーテクノシステムズ、リコーロジスティクスが連携し、より少ない機器台数で効率的なドキュメント出力環境を実現する最適配置を行うほか、保守サポートを24時間体制で提供し、COP10の円滑な運営進行を支援しました。また、機密文書の回収・溶解サービスも盛り込み、セキュリティにも十分に配慮した運用を行いました。リコーグループでは、今後も、これらの大型会議での実績とノウハウを生かして、ネットワーク構築やITサービスにも業務を拡張し、国内外の会議・会合の効率的な運用と環境負荷削減に貢献していきます。

* マネージド・ドキュメント・サービス(MDS)とは、お客様のオフィスでのドキュメント入出力状況を詳細に分析し、最適な機器の配置や効率的なワークフローを提案、そのプリンティング環境の運用・管理を一括で請け負い、ドキュメントワークフローまで含めた提案、継続改善を行うサービスです。リコーグループのMDSはグローバルで展開しています。



**ワークスタイル変革の社内実践を
お客様に提案する「ライブオフィス “ViCreA”」**
《リコージャパン/日本》

リコーグループでは、自らの社内実践をもとに、業務効率を向上し、環境負荷の低いオフィスづくりと最適なワークスタイルをお客様に提案する活動を行っています。それらをご提供する“場”として、ライブオフィス「ViCreA(ヴィクレア)」があります。ViCreAでは、リコージャパンが取り組んできた環境経営を始めとする「社内実践事例」を8つのカテゴリでご紹介しています。さらに、実際のオフィスをご見学頂くことで、お客様に最適な実践事例をご提供しています。現在は、震災後のお客様の省エネ意識の高まりを受け、社内実践している節電のノウハウなどもご紹介しています。なお首都圏・関東地域では、2010年度に約8,000人のご来場をいただきました。

ご紹介している社内実践事例のカテゴリー

- **リスクマネジメント**: 様々なリスクを軽減し、企業の体制強化を図る
- **情報活用**: 社内情報の共有化を図り、有効活用することでビジネス効率を高める
- **コスト削減**: 無駄を省いて、コスト最適化を図る。
- **顧客満足度向上/社員満足向上**: 顧客満足度を高め、お客様から最も高い評価を受ける企業を目指す。社員が生きる元気な会社づくりを実践する。
- **コンプライアンス強化/社会貢献活動**: 企業の社会的責任や事業目標達成を図り、価値を高める。企業として社会に貢献できる活動をする。
- **ワークスタイル変革/業務効率向上**: 社員が働きやすい環境を構築して、労働意欲を高める。業務効率を向上させて、社員一人ひとりの仕事の品質を高める。
- **環境経営**: 地球市民として環境を考えた企業経営を推進する。
- **人材活性化**: 社員の能力をより高められる環境をつくり、人材の活性化を図る。

●お近くのライブオフィスへ

<http://www.ricoh-japan.co.jp/event/liveoffice/>

※ 見学できる内容は各地域のライブオフィスそれぞれ異なりますので、事前にご確認ください。
※ ライブオフィス見学は事前予約制となっております。ご見学ご希望の方は弊社営業へお申し付けください。



お客様をオフィスまでご案内



ワークスタイルを変革する新しいオフィス